

# 館長室 へようこそ 26

## 『業界用語』

図書館長 古川 聡

図書館にいて、館員にしかわからないような言葉が飛び交うことがある。いわゆる業界用語である。館長になって最初の頃、「利用者」という言葉に若干の戸惑いを感じた。これまで教員として相手にしていたのは学生だけであったが、図書館には学外の方も来られるので、すべてをまとめれば利用者になる。「オントキョウ」という言葉にも悩まされた。打ちあわせ中に館員が繰り返し「オントキョウ」と言うのだが、それが音楽図書館協議会を意味する「音図協」であることを理解するのに数か月を要した。わかれば至極当然の表現なのだが。

その業界に入っていないとはいえ、日常生活の中で何かの折りにそのような業界用語を見聞きすることがある。たとえば鉄道業界。車両の横に書かれている「クハ」は運転台のある旅客用車両の区分表示、ホーム先端の小さなディスプレイに表示される「抑止」という文字は「先に進むな」という運転士への運行停止の指令である。では、ホームに流れる『2バン、エンパツ、コロコロ40』という業務放送は何を言っているのだろうか。これは、「2番線に停車中の電車は当初の予定を遅らせて00分40秒に発車しなさい」という乗務員への情報伝達で

あった。わかってくと放送を聞いて思わずニヤツとし、慌ててあせりながら電車で駆け込む乗客を横目に、腕時計の時刻を確認しながらすぐには発車せずにホームに止まっている電車で悠々と乗ることになる。

このような用語や表現は、その業界の中では普通の言葉であり、より短い表現で正確に情報を伝えることができる優れたものといえる。みなさんの周りにはどのような業界用語があるだろうか。「トラ」「ゲネ」などは音楽業界の言葉であろう。「3号館」は、ある特有の意味を持った国立音大用語かもしれない。

4年生はあと半年もしないうちに卒業し、社会に出て、それぞれの業界に入っていく。最初は些細な業界用語の意味がわからず戸惑うものの、半年もすれば自らそれらを使いこなし、仕事をスムーズにこなしているはずである。どのような業界用語がみなさんを待っているのだろうか。もし『そっと教える隣の業界用語辞典』という本が出版されたら、私のような物好きな人たちにきっと売れるに違いないと思うのだが。

## 雑誌の部屋 17

「雑誌の部屋」は、当館が所蔵しているたくさんの雑誌を、もっとみなさんに手にとっていただけるよう紹介するコーナーです。今号と来号でスタディールームの教職・学芸員コーナーに配架されている雑誌をご紹介します。今号は教育・教職関連の雑誌の紹介です。このコーナーには教育・教職に関連する本と一緒に、同じ分野の雑誌最新号当該年度分と前年度分が配架されています。どうぞご利用ください。

### 教育関連

教育音楽 小学版/中学・高校版 月刊

●P0625/P0626…音楽の先生が活躍するあらゆる場面を支援する音楽教育専門誌。指導に役立つ付録楽譜・付録CD付。

音楽鑑賞教育 季刊

●P0746…授業を展開するための考え方やポイントを分かりやすく提案する音楽教育情報誌。

教育 月刊

●P0963…教育の現場で起こっている現実を見すえながら、子どもの未来と教育のあり方を考え、実践・研究する教育科学研究会の機関誌。

特別支援教育研究 月刊

●P1021…特別に支援の必要な幼児たちへのよりよい教育を推進するため、実践的な研究の向上を図る全日本特別支援教育研究連盟の機関誌。

### 教職関連

総合教育技術 月刊

●P1009…常に学校現場の立場に立ち、あるべき学校教育とは何かを多様な視点から考える教育総合誌。

教職課程 月刊

●P1102…教員採用試験合格のために必要なことがわかる教員志望者のための情報・教養誌。

教員養成セミナー 月刊

●P5586…教員採用試験を受験する人のための総合情報誌。雑誌の発行に合わせて教職教養と一般教養の講義を無料で配信中。

